

耕平さんかわら版

★「小泉病」の特効薬は・・・？

皆さん、こんちは。毎年、梅雨時にあたる六月の弘法さんは天候が気になりますが、さて、かわら版をお配りしている今日は、晴れでしょうか、雨でしょうか。カラッと晴れたすがすがしい天候ならいいのですが・・・。

何となくグズグズして、すごしくい状況と言えば、梅雨時の天候だけでなく、日本の世相もそんな感じですよ。何ともやりきれないニュースが後を絶ちません。政治がシツカリして、世相をカラッと晴れた状況にしたいものです。そのためには、日本の抱えている最も根深い構造問題を解決しなくてはなりません。まさしく構造改革です。

それは、政治の舞台である国会が正しい役割を果たしていないことです。国民の皆さんに関わる重要な物事は、国会で決めるのが本来の姿です。でも、日本はそうはなっていません。

その原因は、国会で審議する法案を政治家が自ら汗をかいて作らないからです。例えば、今回の年金法案についても、基本的には役所に丸投げです。国会の審議で間違いや是正すべき点が指摘されてもピタ一文まげられない（＝修正ややり直しに応じられない）というような国会では、存在価値がありません。これでは役所の言いなりですね。

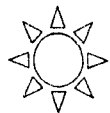
おまけに、役所を指導すべき立場にある政治家のトップである首相自らが、「細かいこと知らない」と開き直っています。残念ながら、首相が知らないのは細かいことだけではありません。困ったことに、基本的なこと、重要なこともけっこう知らないからビツクリです。

もうひとつの構造問題は、首相の開き直りに象徴されるように、無責任が横行していることです。

法律違反を犯したり、限度を超える倫理的な失敗をしてしまった場合には、責任をとるのが当たり前です。しかし、全く責任をとろうとしない首相の姿勢は、今や他の閣僚や与党議員に伝染し、社会全体にも広がり始めています。長崎の事件について、ある大臣が「女の子も元気になった」と失言しました。ひと昔前なら即刻辞任ものですが、居直っています。きっと、首相が無責任だから自分たちもそれでいいと思っっているのでしょう。何とも嘆かわしい国になってしまいました。

「丸投げ、無責任」は、今や「小泉病」と命名してもよいでしょう。子は親の鏡、社会の荒廃は政治の鏡です。丸投げ首相とは正反対の政策通であり、堅物でも有名な岡田さんの登場は、「小泉病」の特効薬になるかもしれませぬ。乞うご期待!!!





覚王山グクグクコーナー



—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——
<今回ご紹介するのは、「久(きゅう)」さんです>

広小路通り南側、覚王山交差点と覚王山西交差点のちょうど間くらいに差し掛かると、この、和菓子の「久(きゅう)」さんがみえてきます。

実はこの久さんは、あのリサイクルショップの「キンブル」さんが経営する和菓子屋さんなのですが、どうやらキンブルさんの会長さんは大のお饅頭好きで、ご自分でも、時代に合った甘さ控えめの和菓子を手掛けたくなったのだとか。

覚王山店では、**みたらし(42円)**、**おはぎ(52円)**、**麩饅頭(63円)**がよく出るとのこと。また、暑い時期には**あんみつ(147円)**も忘れられませんね。いずれもお手頃価格で飛び切りの美味しさです。

「**19時以降半額**」となるのも久さんの嬉しいサービス。これからの季節、涼くなってから和菓子を買に行くのもいいですね。覚王山店では、素敵な女性店員さんが皆様をお待ちしています！

久(覚王山店): TEL 751-0366



小泉病の特効薬？
「岡田さん、期待してますよ！」